

令和6年度平和館ミニ企画展 「戦争から逃れる人々：難民・避難民」パネル展を開催します

川崎市平和館では、戦争の根絶を考える一助となることを願って、本年度の企画展・ミニ企画展の共通テーマを「戦争再考」としています。今回のミニ企画展では、戦争や武力による弾圧から逃れる、難民・避難民に焦点を当てたパネル展を開催します。難民の現状を最新のデータを使って解説するとともに、戦火からの逃避行や難民キャンプでの生活などを写し出した写真も使い、データと感覚の双方向から戦禍を考える展示です。

関連イベントでは、弾圧や内戦から逃れ、南東欧に潜伏しながら西欧を目指す若者たちに密着したドキュメンタリー映画「シャドーゲーム～生死をかけた挑戦～」を上映します。

- 1 期 間 令和6年6月15日（土）～7月15日（月）9時から17時まで
- 2 休 館 日 6月17（月）・18（火）・24日（月）、7月2日（火）・8日（月）
- 3 会 場 川崎市平和館 屋内広場（川崎市中原区木月住吉町33-1） ※入場無料
- 4 主 催 川崎市平和館
- 5 後 援 国連UNHCR協会
- 6 アクセス JR 南武線、JR 横須賀線、東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」、東急東横線・目黒線「元住吉駅」から徒歩約10分
- 7 関連イベント 映画「シャドーゲーム～生死をかけた挑戦～」上映会
 - (1) 開催日時 令和6年6月29日（土）14時から15時30分まで
 - (2) 会 場 川崎市平和館 屋内広場 ※入場無料
 - (3) 定 員 50名（事前申込制）
 - (4) 申込方法 平和館HPの申込みフォーム・電話・FAX

※電話・FAXで申し込みの際は、氏名、住所（町名まで）・電話番号・参加人数を連絡。

申込先 川崎市平和館

電 話：044-433-0171

FAX：044-433-0232

問合せ先

川崎市市民文化局平和館 富永

電 話 044-433-0171

令和6年度ミニ企画展



戦争から逃れる人々

難民・避難民パネル展



ヨルダンのザタリヤ難民キャンプの風景
写真提供: Doolittle Caswell/World Bank



バングラデシュのコックスバザール難民キャンプのキャンプから逃れてきたロヒンギア難民(2018年) 写真撮影: Allison Joyce/UN Women



シリア北部のエルズル難民キャンプのシリア難民家族(2014年)
写真撮影: IOM



セネガルのサントニャン難民キャンプの家族(2014年)
写真撮影: Marc G. Crane/ILC

開催期間: 令和6年6月15日(土)～7月15日(月)

期間中休館日: 6月17・18・24日、7月2・8日

会場: 川崎市平和館 1階 平和の広場

主催: 川崎市平和館



後援: JAPAN FOR UNHCR 国連UNHCR協会

【お問い合わせ先】 川崎市平和館 川崎市中原区木月住吉町33-1

Tel: 044-433-0171 FAX: 044-433-0232

～アクセス～

JR線・東急線「武蔵小杉駅」、東急線「元住吉駅」から 徒歩約10分



戦争から逃れる人々：難民・避難民パネル展について

2021年の軍によるクーデター以来、終わる兆しのないミャンマーの内戦、2022年2月のロシアによるウクライナへの侵攻や、昨年10月にハマスの攻撃に端を発したガザにおける戦闘など、武力による非平和が止まらない今、直接的な戦争当事国ではない地域と地域の人々が、どのように戦争に向き合い、自分(たち)ごととして関われば、戦争という究極の非平和を緩和できるのでしょうか。そんな問いかけの意味を込めて、川崎市平和館では令和6年度の企画展・ミニ企画展の共通テーマを「戦争再考」としています。

戦争は常に、戦闘に参加していない人々の暮らしを、住まいを、命を奪い、大量の戦争から逃れる人々を生み出します。「戦争再考」第1回目となるミニ企画展では、戦争から逃れる人々＝難民・避難民に焦点を当てたパネル展を開催します。

日本は、長年にわたり、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)への主要な資金拠出国であるのと同時に、あまり難民を受け入れてこなかった国でもあります。

社会で共に生きる一員としての難民・避難民の尊厳ある生を考え、そして、難民・避難民発生の根っこにある戦争の根絶を構想する一助に、このミニ企画展がなれば幸いです。

ミニ企画展関連イベント

難民映画祭
GENEVE FILM FESTIVAL
PARTNERS

WITFILM PRESENTS IN CO-PRODUCTION WITH KRO-NCRV
IN COLLABORATION WITH PROSPEKTOR

SHADOW GAME

A FILM BY
EEFJE BLANKEVOORT
AND ELS VAN DRIEL

シャドー ゲーム

～生死をかけた挑戦～

GRAND GENEVA AWARD
FIFDH 2021
GENEVA

YOUTH JURY AWARD
FIFDH 2021
GENEVA

official selection

DOK.fest

A JOURNEY THROUGH THE DARK SIDE OF EUROPE

上映日: 6月29日(土)

上映開始: 14時～(90分)

会場: 川崎市平和館 1階平和の広場

後援: 国連UNHCR協会

要申込: お申し込みは右QRコード、またはお電話で

EEFJE BLANKEVOORT AND ELS VAN DRIEL PRESENT ZIJNOR AL DANDI-JOHN TON PETERS WITH PATRICK SCHNEWILLE AND ELS VAN DRIEL EEFJE BLANKEVOORT
WITH MARK GLENNIE TOM BLUNEN WITH REIS MAJA WITH JOHN THORBERG WITH STUDIO MINSK WITH IRIS LAMMERTSMA WITH BOBBIJN NIOLE
WITH FEMKE DE WILD NAZIMA MINTES WITH JELLE PETER DE HOUTER WITH YOLANDE VAN DER BELJ

WITFILM KRO-NCRV Prospektor N. FILM FONDS Fonds COBO UNHCR JAVA FILMS



監督: エーフィエ・ブランケフォールト、エルス・ファン・ドリール、撮影地: セルビア、ギリシャ、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、クロアチア、マケドニア、製作国: オランダ

2021年 オランダ映画祭 最優秀長編ドキュメンタリー賞受賞、2021年 Prix Europa映画祭(ドイツ) 年間最優秀ヨーロッパテレビドキュメンタリー賞受賞、2021年 国際映画祭と人権フォーラム、FIFDH(スイス) グランジュネーブ賞、青少年審査員賞受賞、2021年 Movies That Matter映画祭(オランダ) オフィシャルセレクション、2021年 ミュンヘン国際ドキュメンタリー映画祭(DOK.fest) SOS-Kinderdorfer weltweit賞ノミネート

弾圧や内戦から逃れ、「西」を目指す若者たち。南東欧に潜伏しながら、西欧を目指し、数千キロを徒歩で歩き、やっとたどり着いた国境でも電気柵や国境警備に阻まれる彼らは、密入国をゲームと呼び、失敗しても何度もトライする。彼らの過酷な「ゲーム」に密着した、2021年公開のドキュメンタリー映画。